

オミックス・IoT・AIで健康と社会を最適化する
山梨ヘルスケア・セントラルシティ未来共創拠点

キックオフシンポジウム

2026

日時 3月23日(月) 13:00-20:00

(受付は12:30から)

会場 ベルクラシック甲府
山梨県甲府市丸の内1丁目1-17
現地 + Zoomウェビナーハイブリット形式

参加費
無料



【プロジェクトの概要】

本プロジェクトは、「すべての住民が健康に関する情報を自ら活用し、地域の健康と経済がともに発展していく社会の実現」を目標としています。山梨から世界へ広げていけるモデルとして、最新の生命科学(オミックス)、IoT、AIなどの技術を活用し、住民一人ひとりが主体となって健康を管理できる拠点づくりを進めます。その第一歩として、山梨県中央市において、さまざまな健康データを安全にまとめて活用できる基盤を整え、まち全体で先端的健康情報を役立てる仕組みを地域の皆さまとともにつくっていきます。さらに、若手研究者の育成や産学官民の連携を通じて外部資金を呼び込み、研究成果の社会実装を加速します。持続的に運営できる地域基盤を整えることで、病気の予防や医療費の抑制、地域経済の活性化を同時に実現する、世界に発信できるモデル都市の創出を目指します。

スケジュール

第1部 シンポジウム (13:00-15:30) 会場: 3階 エリザベート

開会挨拶	・山梨大学 学長 中村 和彦
PO 挨拶	・東京農工大学 大学院工学府 特任教授 養王田 正文
PL 拠点説明	・山梨大学 大学院総合研究部医学域社会医学講座 准教授 大岡 忠生
課題リーダー発表	・課題2 奈良女子大学 研究院生活環境科学系 専任講師 小栗 靖生 ・課題3 九州大学 大学院医学研究院 准教授 福田 治久 ・課題4 東北大学 大学院工学研究科 助教 鶴岡 典子 ・課題5 東京科学大学 環境・社会理工学院 助教 海塩 渉
副PL・実施責任者 提言	・山梨県福祉保健部 理事 若月 衛 ・中央市 副市長 赤岡 重人 ・株式会社はくばく 市場戦略本部 開発部 部長 金子 真吾 ・シミックホールディングス株式会社 Consulting and Navigation Unit Principal 三友 周太 ・株式会社Taomics 本社 執行役員 後藤 豪
参画企業提言	・Google合同会社 Home and Health, Devices & Services Partnerships Head 千川原 智康 ・株式会社電通 第16ビジネスプロデュース局 部長 村上 大介 ・株式会社JTB総合研究所 ヘルスツーリズム担当 主任研究員 臼井 香苗 ・東急株式会社 デジタルプラットフォーム部 URBAN HACKS 松本 直也 ・大塚製薬株式会社 NC事業部 先端科学研究所 所長 池田 泰隆 ・積水ハウス株式会社 総合住宅研究所 環境性能G グループリーダー 梅野 徹也 ・サーモフィッシャーサイエンティフィック・ライフテクノロジーズジャパン株式会社 プロテオミクスサイエンス事業部 シニアビジネス開発マネージャー 甲斐 渉 ・株式会社日医工山梨 本社 総務部 秘書室 社長担当 樋川 英理子 ・株式会社クスリのサンロード 本社 代表取締役専務 山下 光浩
閉会挨拶	・山梨大学 医学域長 小泉 修一

